

次長	課長	課長補佐	総括担当	合 議	担当者	設計 令和 8 年 9 月
						調査 令和 8 年 9 月
設計書						
設計額 一金 円也						
工 事 場 所	氷見市 加納 地内					
工 事 名	北部中学校体育館空調設備設置工事					
工 事 概 要						
	空調設備設置 一式 、ガスバルク設置 1基 一式					
	窓ガラスフィルム貼り 一式					
工期:令和9年3月26日まで						
別 紙 内 訳 書 の と お り						

内 訳 書

		備 考
直接工事費		
間接工事費		
工事費計		
消費税相当額		
合 計		

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	直接工事費						
	北部中学校体育館空調設備設置工事						
I	建築主体工事		1	式			
II	電気設備工事		1	式			
III	機械設備工事		1	式			
	小 計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
I	建築主体工事内訳						
1	直接仮設工事		1	式			
2	金属工事		1	式			
3	ガラス工事		1	式			
4	内装工事		1	式			
5	外構工事		1	式			
6	撤去工事		1	式			
	小 計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
1階	仮設事務所スペース床養生費	合板+テープ	145.0	m2			
2階	ギャラリー下部床養生費	合板+テープ	90.7	m2			
ギャラリー	ギャラリー上部床 窓下養生費	合板+テープ	147.0	m2			
外部	仮設鉄板敷き	乗入れ部	27.0	m2			
	A型バリケード	外部	8.0	台			
足場	外部枠組本足場	手すり先行方式 W=1200 掛払い、修理費、運搬費共	191.0	架m2			
	安全手摺	掛払い、修理費、運搬費共	43.2	m			
	メッシュシート張り 防災Ⅰ類	掛払い、修理費、運搬費共	191.0	架m2			
	内部枠組本足場	ギャラリー 昇降用 W=900 掛払い、修理費、運搬費共	16.9	架m2			
	簡易型移動足場	ギャラリー下部、空調機取付用 掛払い、修理費、運搬費共	6.4	m2			
	1階外部仮間仕切り	B種 LGS+片面コンパネ12張り	17.1	m2			
	1階内部仮間仕切り	B種 LGS+片面コンパネ12張り	45.9	m2			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	金属工事						
	天井点検口	既存廊下 アルミ 450角	7.0	箇所			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	ガラス工事						
	日射調整フィルム	3Mジャパン Nano 70 内貼り 同等	123.0	m2			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	内装工事						
	天井 化粧石膏ボード	t=9.5 点検口仕上げ分	1.4	m2			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	外構工事						
バルク基礎	コンクリート	FC24-18-25	2.1	m3			
	コンクリート打設費	人力、小型構造物	2.1	m3			
	天端 金鰻押え		7.2	m2			
	打放し合板型枠	小型構造物	3.2	m2			
	型枠運搬費	4t車	3.2	m2			
	異形棒鋼 SD295A	D13	0.17	t			
	鉄筋加工組立費	小型構造物	0.17	t			
	鉄筋運搬費	4t車	0.17	t			
	周囲補修コンクリート	FC24-18-25	0.3	m3			
	コンクリート打設費	人力、小型構造物	0.3	m3			
	天端 金鰻押え		3.6	m2			
	砕石下部地盤根切	小規模土工	1.1	m3			
	フェンス		12.0	m			
	同上片開扉	W900 H1200 南京錠付き	1.0	箇所			

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
屋外機基礎	コンクリート	FC24-18-25	3.0	m3			
	コンクリート打設費	人力、小型構造物	3.0	m3			
	天端 金鰻押え		15.1	m2			
	打放し合板型枠	小型構造物	5.4	m2			
	型枠運搬費	4t車	5.4	m2			
	異形棒鋼 SD295A	D13	0.15	t			
	鉄筋加工組立費	小型構造物	0.15	t			
	鉄筋運搬費	4t車	0.15	t			
	周囲補修コンクリート	FC24-18-25	0.9	m3			
	コンクリート打設費	人力、小型構造物	0.9	m3			
	天端 金鰻押え		8.9	m2			
	砕石下部地盤根切	小規模土工	1.2	m3			
設備配管	AS舗装復旧	密粒度アスコンA-5-15 再生材	10.3	m2			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
6	撤去工事						
	(既存舗装撤去)						
バルク基礎	既存AS舗装カッター		13.2	m			
	既存AS舗装撤去		0.5	m3			
	既存碎石撤去		1.3	m3			
屋外機基礎	既存AS舗装カッター		32.0	m			
	既存AS舗装撤去		1.2	m3			
	既存碎石撤去		2.8	m3			
設備配管	既存AS舗装カッター		42.2	m			
	既存AS舗装撤去		0.5	m3			
内部	既存天井(アスベスト含有)	点検口開口の撤去	1.4	m2			
	同上LGS下地	点検口開口の撤去	0.4	m2			
	同上木造下地	点検口開口の撤去	1.0	m2			

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(積込)						
	発生材積込	AS舗装	2.2	m3			
	発生材積込	砕石	4.1	m2			
	発生材積込	砕石下部土	2.3	m3			
	発生材積込	天井石膏ボード(アスベスト含有)	0.1	m3			
	発生材積込	天井LGS下地	0.1	m3			
	発生材積込	天井木造下地	0.1	m3			
	(運搬)						
	発生材運搬	AS舗装	2.2	m3			
	発生材運搬	砕石	4.1	m2			
	発生材運搬	砕石下部土	2.3	m3			
	発生材運搬	天井石膏ボード(アスベスト含有)	0.1	m3			
	発生材運搬	天井LGS下地	0.1	m3			
	発生材運搬	天井木造下地	0.1	m3			

符号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(処分)						
	発生材処分	AS舗装	2.2	m3			
	発生材処分	砕石	4.1	m3			
	発生材処分	砕石下部土	2.3	m3			
	発生材処分	天井石膏ボード(アスベスト含有)	0.1	m3			
	発生材処分	天井LGS下地	0.1	m3			
	発生材処分	天井木造下地	0.1	m3			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
	氷見市立北部中学校体育館空調設備設置工事						
Ⅱ	電気設備						
Ⅱ-1	幹線設備		1	式			
Ⅱ-2	動力・空調設備		1	式			
Ⅱ-3	自立運転設備		1	式			
Ⅱ-4	集中制御設備		1	式			
Ⅱ-5	LAN設備		1	式			
	小 計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ-1	幹線設備						
	電線管	露出 E39	14	m			
	電線管	露出 E51	14	m			
	ケーブル	コロガシ EM-CET14	57	m			
	ケーブル	コロガシ EM-CET22	57	m			
	ケーブル	管入 EM-CET14	14	m			
	ケーブル	管入 EM-CET22	14	m			
	電線	管入 EM-IE5.5	57	m			
	電線	管入 EM-IE14	57	m			
	電灯・動力制御盤	LP-1B	1	面			
	プルボックス	SS350×350×300	1	個			
	プルボックス	SS350×350×300 SUS WP	1	個			
	壁貫通補修	φ75 100～150mm	1	箇所			
	既設調査費		1	式			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ-2	動力・空調設備						
	電線管	露出 ZGP28	50	m			
	電線管	露出 ZGP54	9	m			
	ケーブル	管入 EM-CE5.5-4C	83	m			
	ケーブル	ラック EM-CE5.5-4C	56	m			
	ケーブルラック	ZA-300A-WP	30	m			
	電動機結線費	直入始動方式	4	式			
	プルボックス	SS350×350×300	1	個			
	プルボックス	SS350×350×300 SUS WP	1	個			
	プルボックス	SS250×250×200 SUS WP	4	個			
	壁貫通補修	φ75 100～150mm	1	箇所			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ-3	自立運転設備						
	電線管	露出 ZGP22	33	m			
	電線管	露出 ZGP28	42	m			
	電線管	露出 ZGP36	32	m			
	電線管	露出 ZGP54	22	m			
	ケーブル	管入 EM-CE8-2C	10	m			
	ケーブル	管入 EM-CE8-3C	32	m			
	ケーブル	管入 EM-CET14	22	m			
	ケーブル	管入 EM-EEF2.0-3C	98	m			
	ケーブル	管入 EM-CEE-S1.25-2C	32	m			
	ケーブル	管入 EM-CEE-S1.25-4C	32	m			
	ケーブル	管入 EM-CEE-S2-2C	105	m			
	ケーブル	ラック EM-CE8-3C	31	m			
	ケーブル	コロガシ EM-EEF2.0-3C	204	m			
	ケーブル	コロガシ EM-CEE-S1.25-2C	100	m			
	ケーブル	コロガシ EM-CEE-S1.25-4C	100	m			
	ケーブル	コロガシ EM-CEE-S2-2C	114	m			
	1種金属製線ぴ	A型	13	m			

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
	1種金属製線ぴ	B型	20	m			
	プルボックス	SS250×250×200	6	個			
	プルボックス	SS200×200×200 SUS WP	2	個			
	プルボックス	SS250×250×200 SUS WP	6	個			
	プルボックス	SS400×400×300 SUS WP	6	個			
	コーナーボックス	A型	2	個			
	コーナーボックス	B型	6	個			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ-4	集中制御設備						
	電線管	露出 E19	8	m			
	電線管	露出 E25	8	m			
	電線管	露出 ZGP16	15	m			
	電線管	露出 ZGP22	33	m			
	ケーブル	コロガシ EM-EEF2.0-3C	6	m			
	ケーブル	ラック EM-MEE-S0.75-2C	30	m			
	ケーブル	コロガシ EM-MEE-S0.75-2C	462	m			
	ケーブル	管入 EM-MEE-S0.75-2C	106	m			
	1種金属製線ぴ	A型	11	m			
	1種金属製線ぴ	B型	33	m			
	プルボックス	SS200×200×200	2	個			
	プルボックス	SS200×200×200 SUS WP	8	個			
	エアコンリモコン	設備工事支給品配線接続	4	組			
	アウトレットボックス	四角中深型 カバー付	1	個			
	コーナーボックス	A型	2	個			
	コーナーボックス	B型	4	個			
	1種金属製線ぴスイッチボックス	2個用 A型	4	個			

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
	防火区画貫通処理	(25)	1	箇所			
	壁貫通補修	φ 50 100～150mm	5	箇所			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ-5	LAN設備						
	電線管	インペイ PF-S28	5	m			
	避難所用光回線設備盤(再取付)		1	面			
	金属製線ぴ再接続費	EEF2.0-3C切断・再接続共	1	式			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ	機械設備						
Ⅲ-1	空気調和設備						
1	機器設備		1	式			
2	配管設備		1	式			
Ⅲ-2	ガス設備		1	式			
	小 計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ-1	空気調和設備						
1	機器設備						
	ガスヒートポンプマルチエアコン						
	屋外機(親機) GHP-560-1	冷房能力56.0kW 暖房能力63.0kW	2	台			
	屋外機(子機) GHP-560-2	冷房能力56.0kW 暖房能力63.0kW	2	台			
	屋内機 GHP-80CR	冷房能力8.0kW 暖房能力9.0kW	2	台			
	屋内機 GHP-160CR	冷房能力16.0kW 暖房能力18.0kW	12	台			
	集中コントローラー		1	台			
	GHP用電源切替盤		2	台			
	GHP用自立運転スイッチ盤		2	台			
	屋内機用上部カバー	(アングルフランジ工法ﾀﾞｸﾄ1.0t)	14	m ²			
	同上塗装工事		14	m ²			
	消火器	ABC10型消火器	2	本			
	消火器格納箱	SUS製	2	個			
	搬入費 屋外機	$2.03 \times 0.88 \times 2.23 \times 870\text{kg} \cdots 218\text{kg/m}^3$	1.74	t			
	搬入費 屋外機	$2.03 \times 0.88 \times 2.23 \times 820\text{kg} \cdots 206\text{kg/m}^3$	1.64	t			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
2	配管設備						
	冷媒用断熱材被覆銅管	φ 15.9 ガス管	38	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	φ 25.4 ガス管	24	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	φ 28.6 ガス管	94	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	φ 9.5 液管	38	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	φ 12.7 液管	24	m			
	冷媒用断熱材被覆銅管	φ 15.9 液管	94	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋内一般 25A	42	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋内一般 30A	27	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋内一般 40A	1	m			
	排水・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋外架空・暗渠 32A	16	m			
	排水・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋外架空・暗渠 40A	12	m			
	排水・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋外架空・暗渠 50A	9	m			
	冷媒配管外装材ダクト形保温化粧ケース	高耐食溶融亜鉛メッキ処理鋼板	1	式			
	冷媒用断熱材被覆銅管用保温外装	(屋内露出部)	38	m			
	冷水管保温	ポリスチレン 屋外露出 ステンレス鋼板 150A	24	m			
	配管用炭素鋼鋼管(白管)塗装	32A	16	m			

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
	配管用炭素鋼鋼管(白管)塗装	40A	12	m			
	配管用炭素鋼鋼管(白管)塗装	50A	9	m			
	機械はつり (ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 100mm	4	か所			
	機械はつり (ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 150mm	4	か所			
	小計						

符号	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ-2	ガス設備						
	ガス用バルクタンク	980kg縦型	1	式			
	同上据付費		1	式			
	ガス配管工事	配管、土工事含	1	式			
	小計						

北部中学校体育館空調設備設置工事

図面番号	図面名称
A-01	表紙、図面リスト
A-02	特記仕様書 1
A-03	特記仕様書 2
A-04	特記仕様書 3
A-05	付近見取図、配置図、仮設計画図
A-06	体育館 1 階平面図
A-07	体育館 2 階平面図
A-08	体育館ギャラリー一階平面図
A-09	体育館立面図 1
A-10	体育館立面図 2
A-11	体育館矩計図 1
A-12	校舎棟天井伏図（C 棟 1 階、B 棟 2 階）
A-13	機械基礎詳細図
A-14	仮設計画立面図 1
A-15	仮設計画立面図 2

図面番号	図面名称
E-01	特記仕様書（１）
E-02	特記仕様書（２）
E-03	電灯盤結線図・動力制御盤結線図・動力制御回路図
E-04	１階 幹線・動力設備配線図
E-05	１・２階 自立運転システム配線図
E-06	１階 集中制御配線図
E-07	２階 集中制御配線図
M-01	特記仕様書（共通事項）
M-02	特記仕様書（電気・機械設備）
M-03	機器表・系統図
M-04	体育館１階平面図（空調設備図）
M-05	体育館２階平面図（空調設備図）
M-06	LPGバルクタンク参考図

表紙共 28 枚

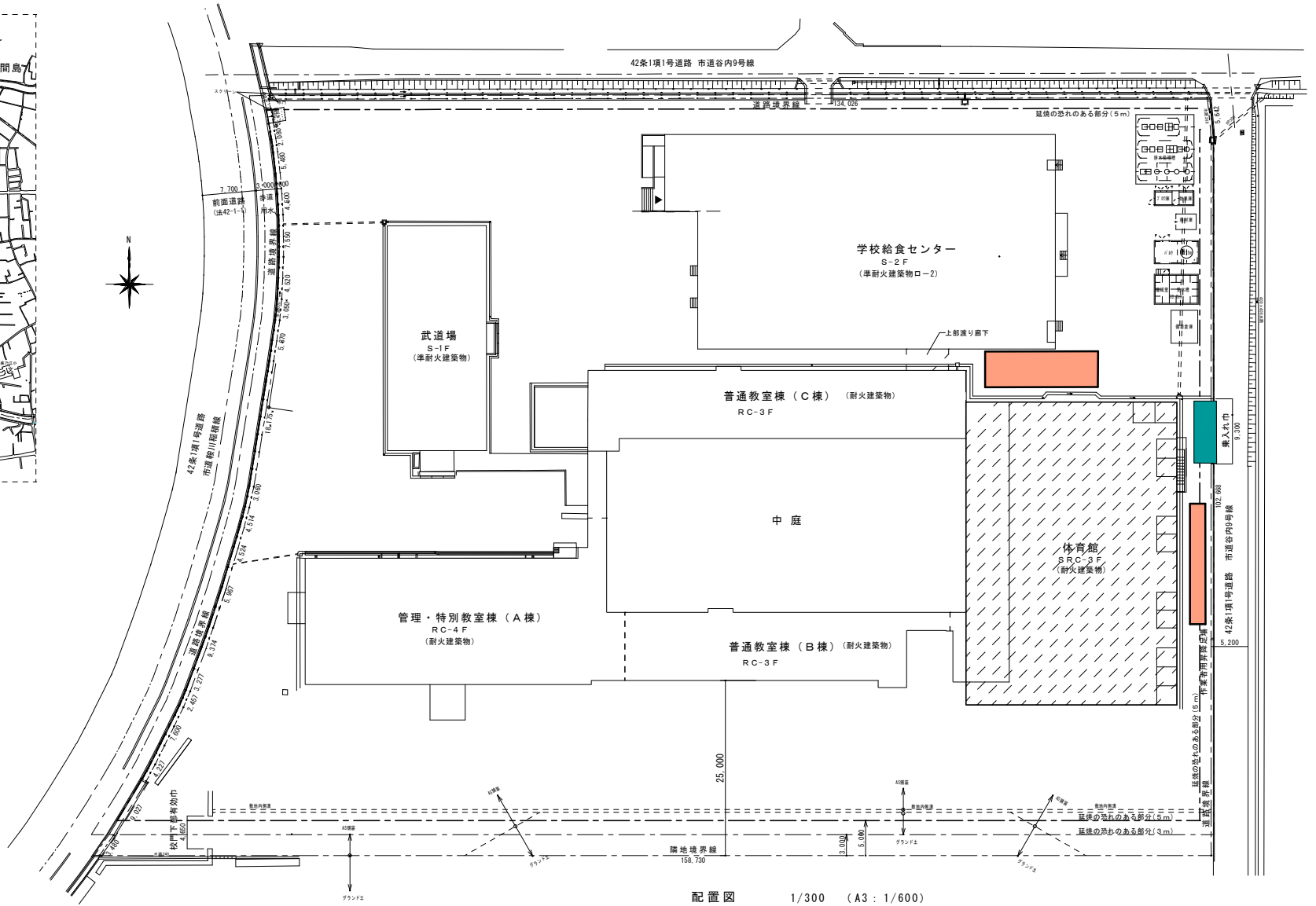
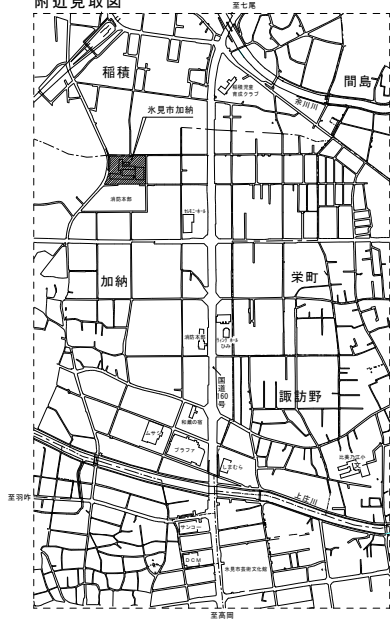
 株式会社 中川建築設計事務所 本社 住所 〒832-0041 山口県萩市坂本2丁目1番27号 TEL 0916-271-1062 FAX 0916-271-1217 管理棟 1F 〒832-0008 山口県萩市本町2丁目2番10号	工事名 北部中学校体育館空調設備設置工事 2026. 06. 17				設計者	監査	担当	設計番号
	図面番号 特記仕様書 1				概算	一般建築士 登録第353551号 藤谷 孝代		図面番号
								26003
								A-02

2	改質777シート防水	<table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>シートの厚さ (mm)</th><th>取気装置</th><th>改修用ドレ</th></tr><tr><td rowspan="3">・M4AS</td><td rowspan="3"></td><td>・AS-T1</td><td>下層用 ※2.5以上</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td></td><td>上層用 ※3.0以上</td></tr><tr><td>・AS-T2</td><td>※4.0以上</td></tr><tr><td rowspan="3">・M3AS ・POAS</td><td rowspan="3"></td><td>・AS-U2</td><td>※3.0以上</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・AS-T3</td><td>下層用 ※1.5以上</td><td>・設ける</td><td>・設ける</td></tr><tr><td></td><td>上層用 ※3.0以上</td><td>・設けない</td><td>・設けない</td></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>・AS-T4</td><td>※4.0以上</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td rowspan="2">・AS-U1</td><td>下層用 ※1.5以上</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>上層用 ※2.0以上</td></tr><tr><td>・AS-U3</td><td>※3.0以上</td></tr><tr><td rowspan="3">・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td><td rowspan="3"></td><td>・AS1-T1</td><td>下層用 ※1.5以上</td><td>・設ける</td><td>・設ける</td></tr><tr><td></td><td>上層用 ※3.0以上</td><td>・設けない</td><td>・設けない</td></tr><tr><td>・AS1-U1</td><td>下層用 ※1.5以上</td><td>・設けない</td><td>・防護層</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>上層用 ※2.0以上</td><td>・設ける</td><td>・設けない</td></tr></table> 仕上塗料の種類、使用量 ・ ※改質777シート製造所の仕様による 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 (M4AS工法及びM4ASI工法) ・行う ・行わない 断熱工法の断熱材の種類、厚さ () 種別 () 厚さ(mm) ・25mm ・ ASI-T1及びASI-U1の場合の防護用シート (・設置する ・設置しない) 取気装置の種類及び設置数量 種別 ・ 設置数量 ・ 個/m² ※改質アスファルトシート製造所の指定による <table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>新規防水層の種類</th><th>厚さ (mm)</th><th>取気装置</th><th>改修用ドレ</th></tr><tr><td rowspan="3">・POS ・S4S</td><td rowspan="3"></td><td>・S-F1 (※1.2 ・)</td><td>・設ける</td><td>・設ける</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・S-F2 (※2.0 ・)</td><td>・設けない</td><td>・設けない</td></tr><tr><td>・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・S3S</td><td rowspan="3"></td><td>・S-F1 (※1.2 ・)</td><td>・設ける</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・S-F2 (※2.0 ・)</td><td>・設けない</td></tr><tr><td>・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)</td><td>・設ける</td></tr><tr><td rowspan="3">・M4S</td><td rowspan="3"></td><td>・S-F1 (※1.2 ・)</td><td>・設ける</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・S-F2 (※2.0 ・)</td><td>・設けない</td></tr><tr><td>・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)</td><td>・設ける</td></tr><tr><td rowspan="3">・POSI ・S4SI ・S3SI ・M4SI</td><td rowspan="3"></td><td>・S1-F1 (※1.2 ・)</td><td>・設ける</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">・設ける</td></tr><tr><td>・S1-F2 (※1.5 ・)</td><td>・設けない</td></tr><tr><td>・S1-M1 (※1.5 ・) ・S1-M2 (※1.5 ・)</td><td></td></tr></table> SI-F1及びSI-U1の場合の防護用フィルム (・設置する ・設置しない) 屋内防水 <table><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">保護層</th></tr><tr><th>平場のモルタル塗り</th><th>立上り部の保護</th></tr><tr><td rowspan="2">・S-C1</td><td rowspan="2"></td><td>塗り厚さ ・床塗り工法 ※標準15.3.5 (2) (4) 及び (4) に準ずる</td><td>・下地モルタル塗り モルタル塗り厚さ ※7mm以下</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上とする場合の厚さ ・ 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を被覆加工した鋼板 取気装置の種類及び設置数量 種別 ・ 個/m² ※ルーフィングシート製造所の指定による 設置数量 ・ 個/m² ※ルーフィングシート製造所の指定による 仕上塗料塗り (S-F1、S1-F1、S-M1、S1-M1の場合) ・シールバー ・カラー 使用量 ※67(7)シート製造所の仕様による ・ 新規防水層の使用分類 ※非歩行 ・軽歩行 ・軽歩行 機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 断熱材の材料、厚さ ・接着工法 ※改修標準3.5.2(3) (a) (b) による ・ (厚さ) ・25mm ・ ・機械的固定工法 ※改修標準3.5.2(3) (a) による (厚さ) ・25mm ・ 既存下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の処理 目地処理 (※接着工法 ・) ※図示 PC部材の隅部への増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う (幅 mm程度) ・行わない	種別	施工箇所	新規防水層の種類	シートの厚さ (mm)	取気装置	改修用ドレ	・M4AS		・AS-T1	下層用 ※2.5以上				上層用 ※3.0以上	・AS-T2	※4.0以上	・M3AS ・POAS		・AS-U2	※3.0以上			・AS-T3	下層用 ※1.5以上	・設ける	・設ける		上層用 ※3.0以上	・設けない	・設けない			・AS-T4	※4.0以上			・AS-U1	下層用 ※1.5以上			上層用 ※2.0以上	・AS-U3	※3.0以上	・M3ASI ・M4ASI ・POASI		・AS1-T1	下層用 ※1.5以上	・設ける	・設ける		上層用 ※3.0以上	・設けない	・設けない	・AS1-U1	下層用 ※1.5以上	・設けない	・防護層				上層用 ※2.0以上	・設ける	・設けない	種別	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ (mm)	取気装置	改修用ドレ	・POS ・S4S		・S-F1 (※1.2 ・)	・設ける	・設ける		・S-F2 (※2.0 ・)	・設けない	・設けない	・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)			・S3S		・S-F1 (※1.2 ・)	・設ける			・S-F2 (※2.0 ・)	・設けない	・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)	・設ける	・M4S		・S-F1 (※1.2 ・)	・設ける			・S-F2 (※2.0 ・)	・設けない	・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)	・設ける	・POSI ・S4SI ・S3SI ・M4SI		・S1-F1 (※1.2 ・)	・設ける		・設ける	・S1-F2 (※1.5 ・)	・設けない	・S1-M1 (※1.5 ・) ・S1-M2 (※1.5 ・)		種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の保護	・S-C1		塗り厚さ ・床塗り工法 ※標準15.3.5 (2) (4) 及び (4) に準ずる	・下地モルタル塗り モルタル塗り厚さ ※7mm以下			3	合成高分子系 ルーフィングシート 防水	
種別	施工箇所	新規防水層の種類	シートの厚さ (mm)	取気装置	改修用ドレ																																																																																																																											
・M4AS		・AS-T1	下層用 ※2.5以上																																																																																																																													
			上層用 ※3.0以上																																																																																																																													
		・AS-T2	※4.0以上																																																																																																																													
・M3AS ・POAS		・AS-U2	※3.0以上																																																																																																																													
		・AS-T3	下層用 ※1.5以上			・設ける	・設ける																																																																																																																									
			上層用 ※3.0以上			・設けない	・設けない																																																																																																																									
		・AS-T4	※4.0以上																																																																																																																													
		・AS-U1	下層用 ※1.5以上																																																																																																																													
			上層用 ※2.0以上																																																																																																																													
・AS-U3	※3.0以上																																																																																																																															
・M3ASI ・M4ASI ・POASI		・AS1-T1	下層用 ※1.5以上	・設ける	・設ける																																																																																																																											
			上層用 ※3.0以上	・設けない	・設けない																																																																																																																											
		・AS1-U1	下層用 ※1.5以上	・設けない	・防護層																																																																																																																											
			上層用 ※2.0以上	・設ける	・設けない																																																																																																																											
種別	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ (mm)	取気装置	改修用ドレ																																																																																																																											
・POS ・S4S		・S-F1 (※1.2 ・)	・設ける	・設ける																																																																																																																												
		・S-F2 (※2.0 ・)	・設けない	・設けない																																																																																																																												
		・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)																																																																																																																														
・S3S		・S-F1 (※1.2 ・)	・設ける																																																																																																																													
		・S-F2 (※2.0 ・)	・設けない																																																																																																																													
		・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)	・設ける																																																																																																																													
・M4S		・S-F1 (※1.2 ・)	・設ける																																																																																																																													
		・S-F2 (※2.0 ・)	・設けない																																																																																																																													
		・S-M1 (※1.5 ・) ・S-M2 (※1.5 ・)	・設ける																																																																																																																													
・POSI ・S4SI ・S3SI ・M4SI		・S1-F1 (※1.2 ・)	・設ける		・設ける																																																																																																																											
		・S1-F2 (※1.5 ・)	・設けない																																																																																																																													
		・S1-M1 (※1.5 ・) ・S1-M2 (※1.5 ・)																																																																																																																														
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																														
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護																																																																																																																													
・S-C1		塗り厚さ ・床塗り工法 ※標準15.3.5 (2) (4) 及び (4) に準ずる	・下地モルタル塗り モルタル塗り厚さ ※7mm以下																																																																																																																													
5	シーリング	<table><tr><th>改修工法の種類</th><th>施行箇所</th></tr><tr><td>・シーリング 充填工法</td><td>パネル周囲、アルミパネル周囲、サイディング周囲 以上新設部</td></tr><tr><td>・シーリング 再充填工法</td><td>既存アルミサッシ周囲、既存サイディング周囲</td></tr><tr><td>・断熱シーリング 再充填工法</td><td></td></tr><tr><td>・ブリッジ工法</td><td></td></tr></table> 67(7)シート張り及び67(7) 材張り (ブリッジ工法の場合) ・適用する シーリング材の種類及び施工箇所 ※下表以外は、改修標準 表3.7.1を標準とする <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類 (記号)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 接着性試験 ※図示接着性試験 ・引張接着性試験 (対象施工部位) 除去既存シーリングの処理 事前調査等 現場においてサンプルを採取し、専門分析機関で分析を行う。 採取箇所 ※外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示 採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示 分析によりPCBの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理を行う。 施工調査等 調査範囲 ※今回改修工事範囲全て ・図示 調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 仮設計画 廃棄物等の搬出方法	改修工法の種類	施行箇所	・シーリング 充填工法	パネル周囲、アルミパネル周囲、サイディング周囲 以上新設部	・シーリング 再充填工法	既存アルミサッシ周囲、既存サイディング周囲	・断熱シーリング 再充填工法		・ブリッジ工法		施工箇所	シーリング材の種類 (記号)					6	とい	といその他の材料 配管用鋼管 ※経年着色変化ビニル管 (・VP ・RP ・VP) ルーフトレンのその他の材料 <table><tr><th>種別</th><th>材料</th></tr><tr><td>・ろく屋履用 (・ 縦型 ・ 横型)</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td></td></tr></table> とい受金物及び足金物 ※改修標準 表3.8.2による ・	種別	材料	・ろく屋履用 (・ 縦型 ・ 横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用																																																																																																				
改修工法の種類	施行箇所																																																																																																																															
・シーリング 充填工法	パネル周囲、アルミパネル周囲、サイディング周囲 以上新設部																																																																																																																															
・シーリング 再充填工法	既存アルミサッシ周囲、既存サイディング周囲																																																																																																																															
・断熱シーリング 再充填工法																																																																																																																																
・ブリッジ工法																																																																																																																																
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																															
種別	材料																																																																																																																															
・ろく屋履用 (・ 縦型 ・ 横型)																																																																																																																																
・バルコニー用																																																																																																																																
・バルコニー中継用																																																																																																																																
5	建築改修工事	<table><tr><th>改修工法</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・かぶせ工法</td><td>※建築表による</td></tr><tr><td>・磨き工法</td><td>※建築表による</td></tr></table> <table><tr><th>種別</th><th>記号</th><th>目付調整</th><th>その他の性能等</th></tr><tr><td>・衝撃破壊耐応ガラス</td><td>※ G1-1 (内張り)</td><td>・ あり</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・飛散防止フィルム</td><td>・ G1-2 (外張り)</td><td>・ A ・ B ・ C</td></tr><tr><td>・層間変位破壊耐応ガラス</td><td>・ GD-1 (内張り)</td><td>・ D ・ E</td></tr><tr><td>・飛散防止フィルム</td><td>・ GD-2 (外張り)</td><td>・ なし</td><td></td></tr><tr><td>○目付調整フィルム</td><td>※ SD-1 (内張り) ・ SD-2 (外張り)</td><td>・ A ・ B ・ C ・ D ・ E</td><td></td></tr></table> ・ 品質 JIS A 5758による。	改修工法	適用箇所	・かぶせ工法	※建築表による	・磨き工法	※建築表による	種別	記号	目付調整	その他の性能等	・衝撃破壊耐応ガラス	※ G1-1 (内張り)	・ あり		・飛散防止フィルム	・ G1-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C	・層間変位破壊耐応ガラス	・ GD-1 (内張り)	・ D ・ E	・飛散防止フィルム	・ GD-2 (外張り)	・ なし		○目付調整フィルム	※ SD-1 (内張り) ・ SD-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C ・ D ・ E		1	改修工法																																																																																																
改修工法	適用箇所																																																																																																																															
・かぶせ工法	※建築表による																																																																																																																															
・磨き工法	※建築表による																																																																																																																															
種別	記号	目付調整	その他の性能等																																																																																																																													
・衝撃破壊耐応ガラス	※ G1-1 (内張り)	・ あり																																																																																																																														
・飛散防止フィルム	・ G1-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C																																																																																																																														
・層間変位破壊耐応ガラス	・ GD-1 (内張り)	・ D ・ E																																																																																																																														
・飛散防止フィルム	・ GD-2 (外張り)	・ なし																																																																																																																														
○目付調整フィルム	※ SD-1 (内張り) ・ SD-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C ・ D ・ E																																																																																																																														
		5	建築改修工事	<table><tr><th>改修工法</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・かぶせ工法</td><td>※建築表による</td></tr><tr><td>・磨き工法</td><td>※建築表による</td></tr></table> <table><tr><th>種別</th><th>記号</th><th>目付調整</th><th>その他の性能等</th></tr><tr><td>・衝撃破壊耐応ガラス</td><td>※ G1-1 (内張り)</td><td>・ あり</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・飛散防止フィルム</td><td>・ G1-2 (外張り)</td><td>・ A ・ B ・ C</td></tr><tr><td>・層間変位破壊耐応ガラス</td><td>・ GD-1 (内張り)</td><td>・ D ・ E</td></tr><tr><td>・飛散防止フィルム</td><td>・ GD-2 (外張り)</td><td>・ なし</td><td></td></tr><tr><td>○目付調整フィルム</td><td>※ SD-1 (内張り) ・ SD-2 (外張り)</td><td>・ A ・ B ・ C ・ D ・ E</td><td></td></tr></table> ・ 品質 JIS A 5758による。	改修工法	適用箇所	・かぶせ工法	※建築表による	・磨き工法	※建築表による	種別	記号	目付調整	その他の性能等	・衝撃破壊耐応ガラス	※ G1-1 (内張り)	・ あり		・飛散防止フィルム	・ G1-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C	・層間変位破壊耐応ガラス	・ GD-1 (内張り)	・ D ・ E	・飛散防止フィルム	・ GD-2 (外張り)	・ なし		○目付調整フィルム	※ SD-1 (内張り) ・ SD-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C ・ D ・ E		1	ガラス用フィルム																																																																																														
改修工法	適用箇所																																																																																																																															
・かぶせ工法	※建築表による																																																																																																																															
・磨き工法	※建築表による																																																																																																																															
種別	記号	目付調整	その他の性能等																																																																																																																													
・衝撃破壊耐応ガラス	※ G1-1 (内張り)	・ あり																																																																																																																														
・飛散防止フィルム	・ G1-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C																																																																																																																														
・層間変位破壊耐応ガラス	・ GD-1 (内張り)	・ D ・ E																																																																																																																														
・飛散防止フィルム	・ GD-2 (外張り)	・ なし																																																																																																																														
○目付調整フィルム	※ SD-1 (内張り) ・ SD-2 (外張り)	・ A ・ B ・ C ・ D ・ E																																																																																																																														

株式会社 中川建築設計事務所		〒835-0041 岡山県岡山市東区下段1番27号 TEL 086-821-1000 FAX 086-821-1071 代表取締役 中川 隆 取締役 中川 隆子 事務員 中川 隆子	2026.08.17	設計者 一般建築士 登録第353551号 中川 隆子	26003
中川 隆子		特記仕様書 3			

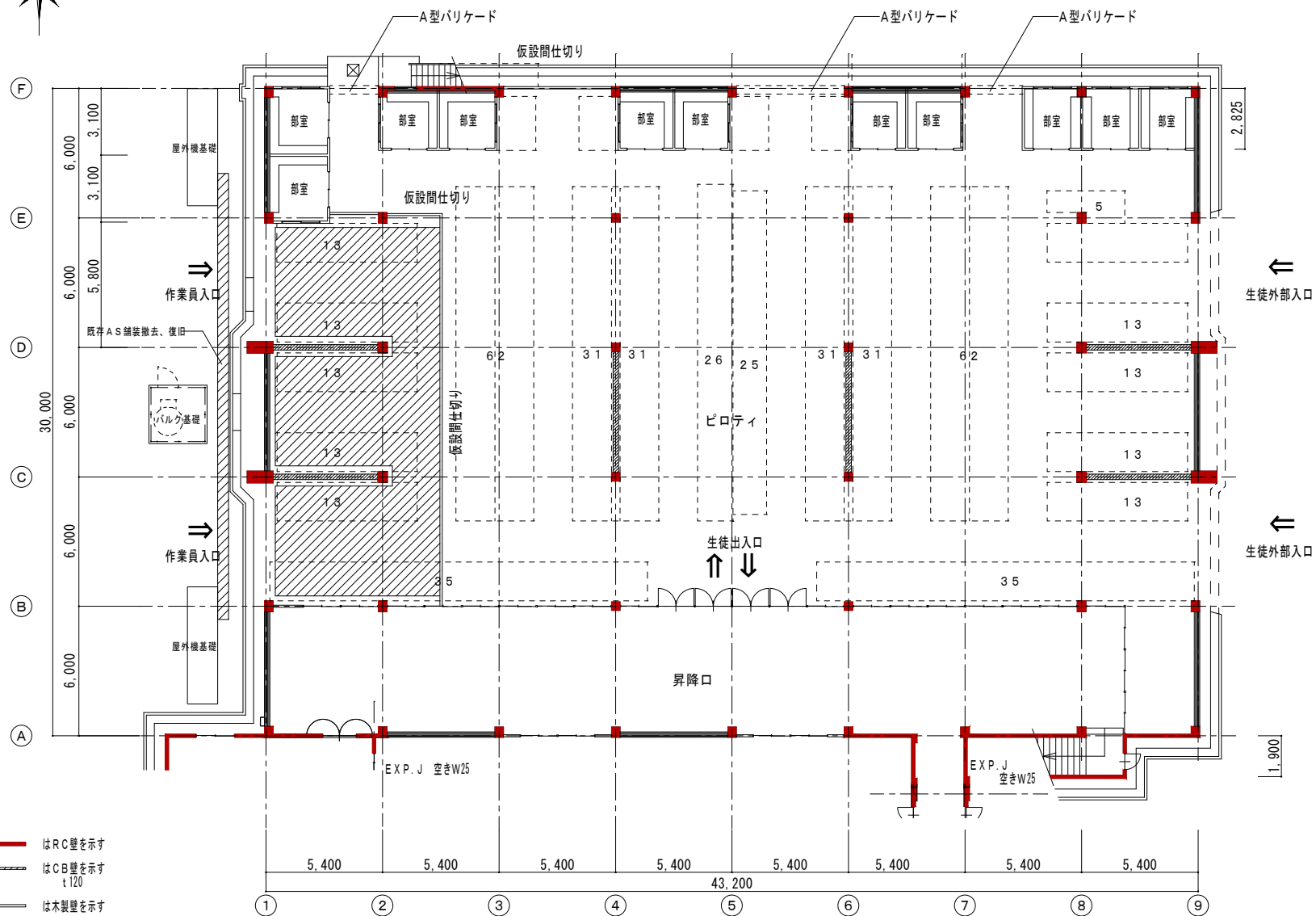
中川 隆子		中川 隆子		中川 隆子	
中川 隆子		中川 隆子		中川 隆子	

附近見取図



配置図 1/300 (A3: 1/600)

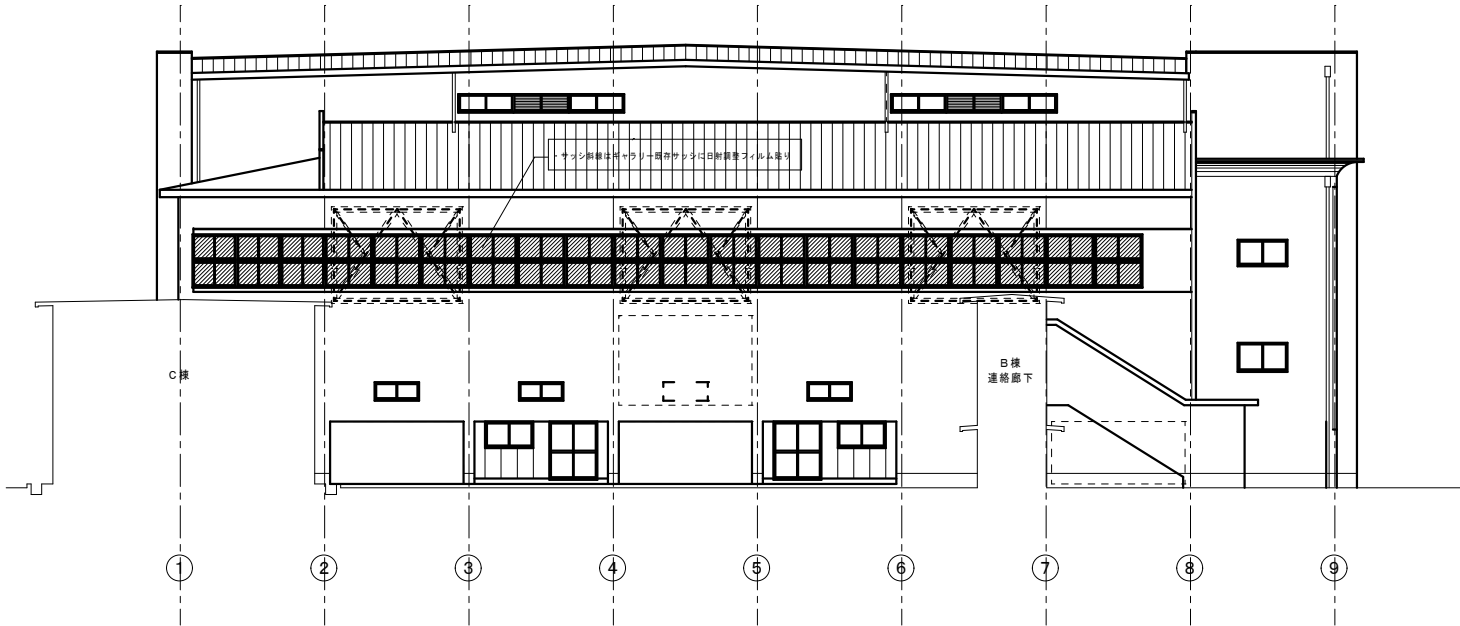
- 資材等の保管場所を示す
- 作業車・資材等搬入路を示す 鉄板敷き



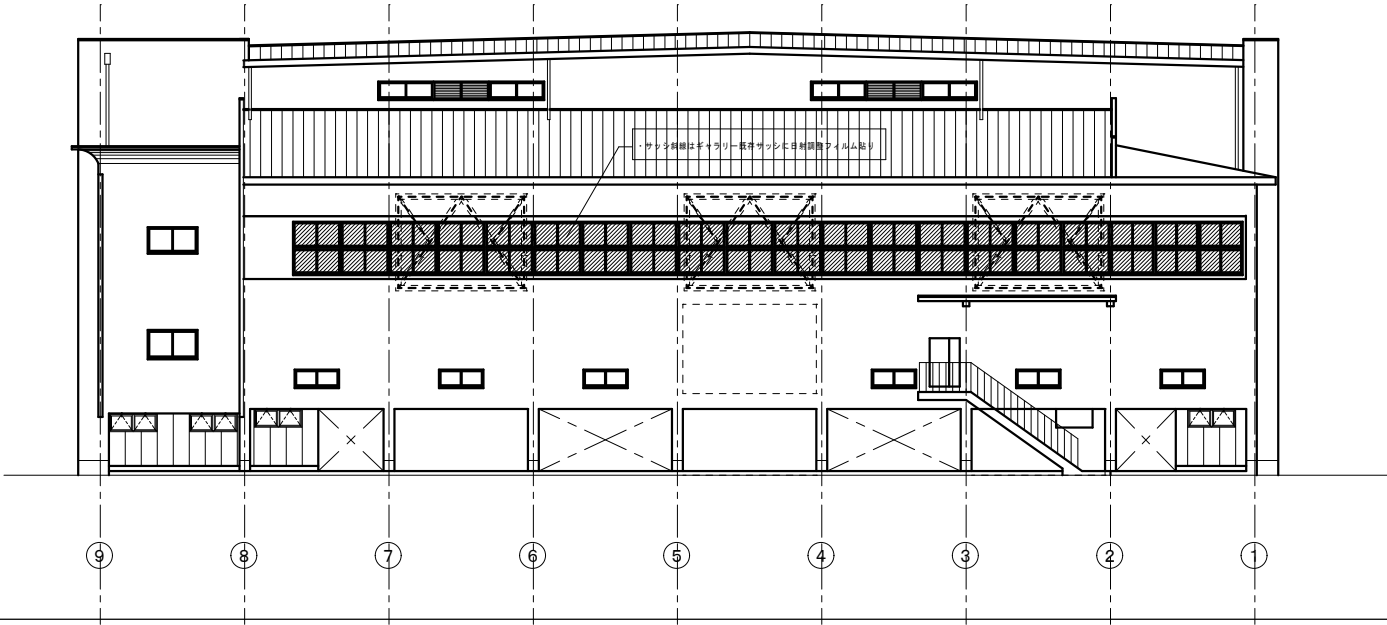
 はRC壁を示す
 はCB壁を示す
 $t \geq 120$
 は木製壁を示す

現場事務所スペース、資材保管場所

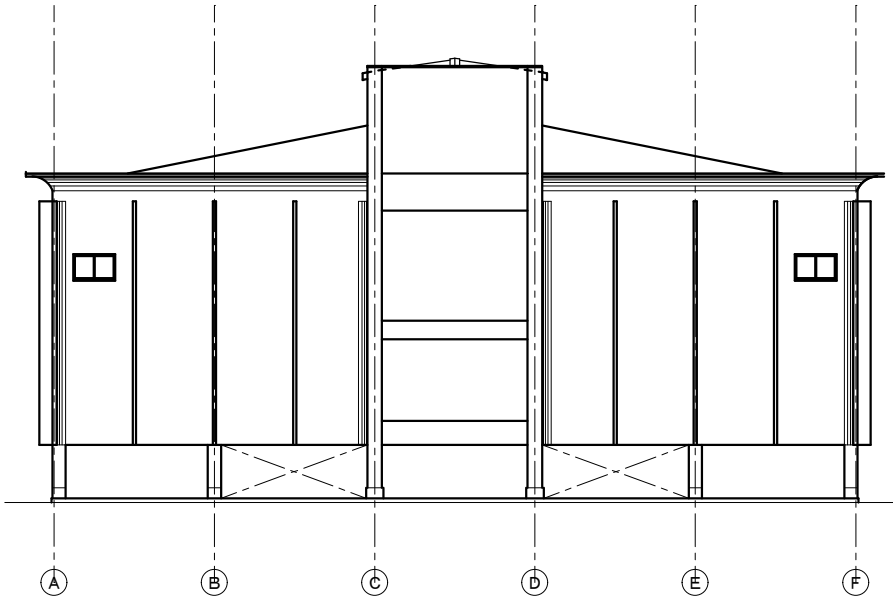
西側立面図



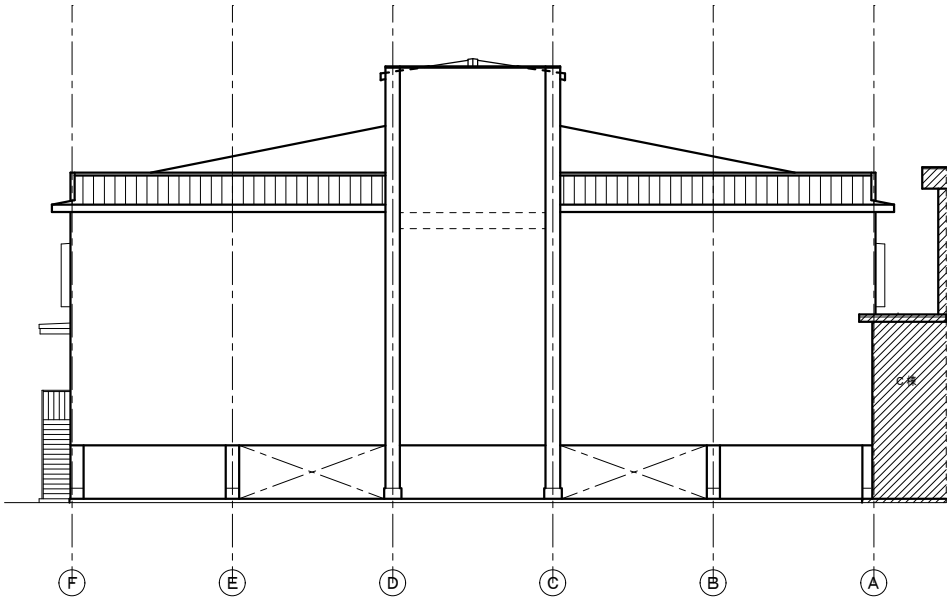
東側立面図

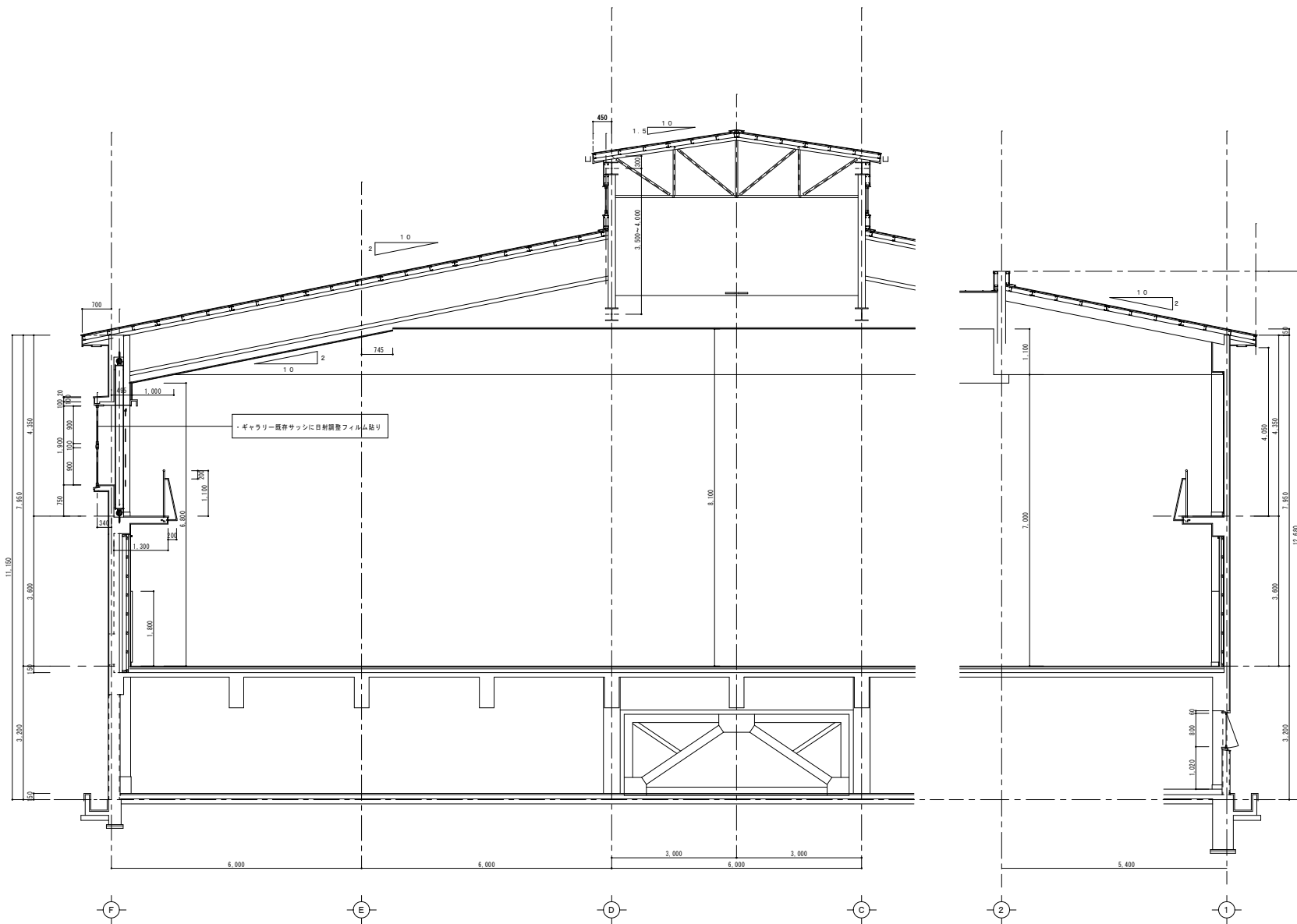


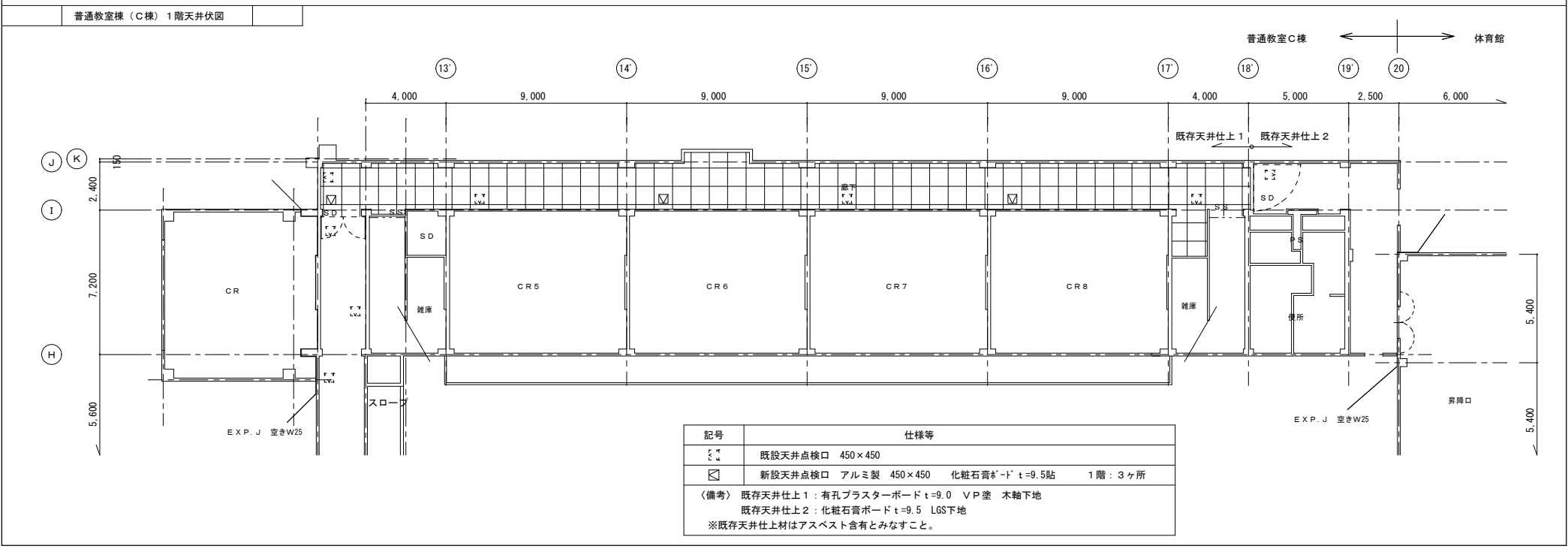
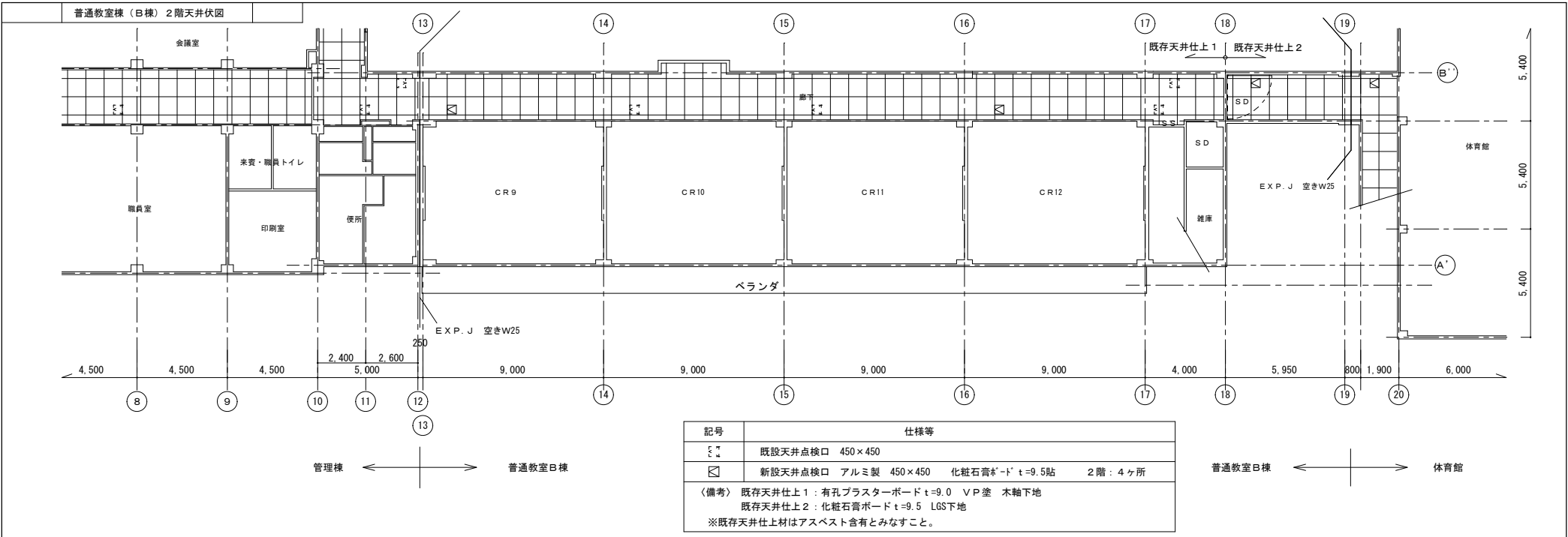
南側立面図

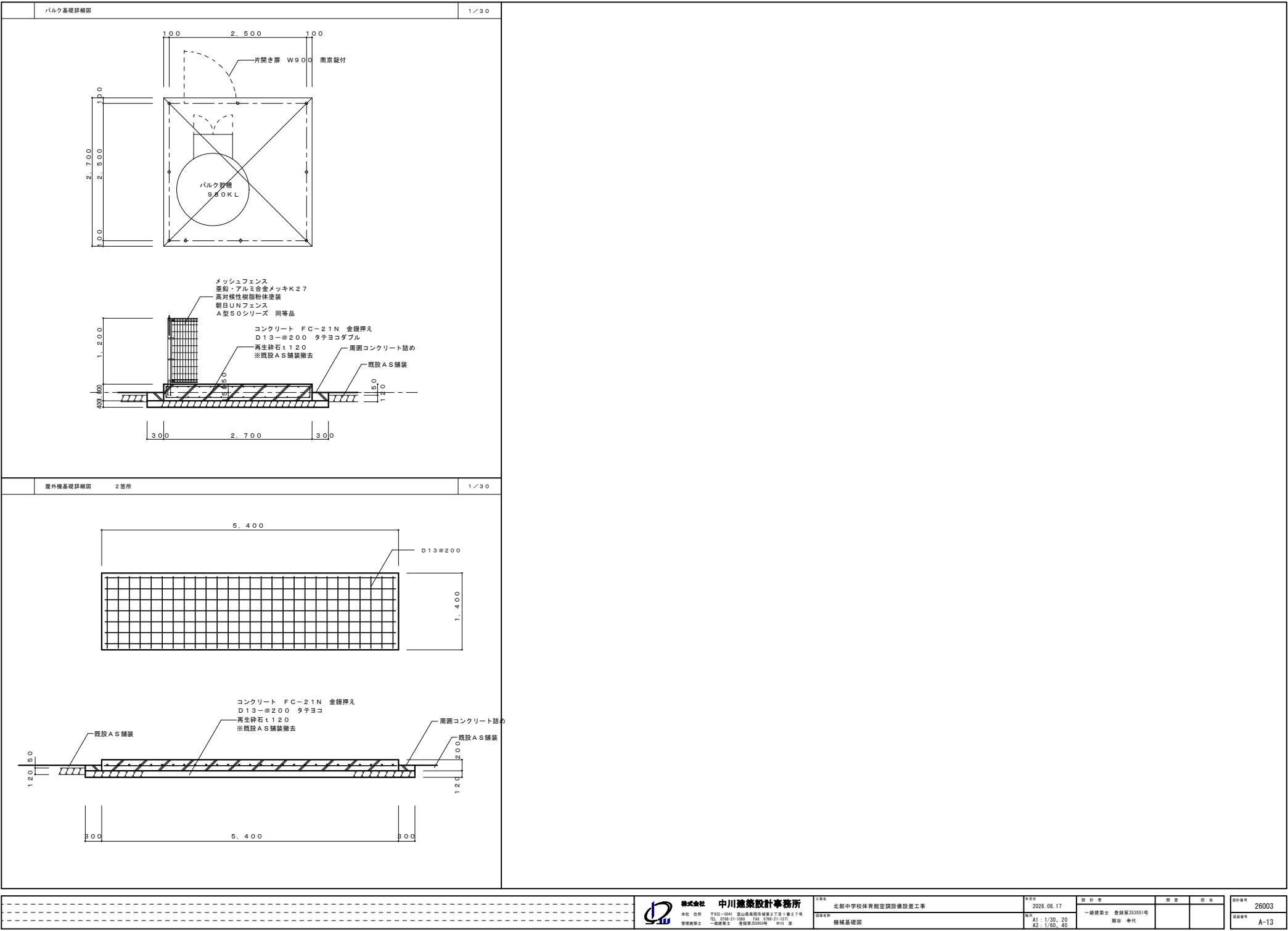


北側立面図

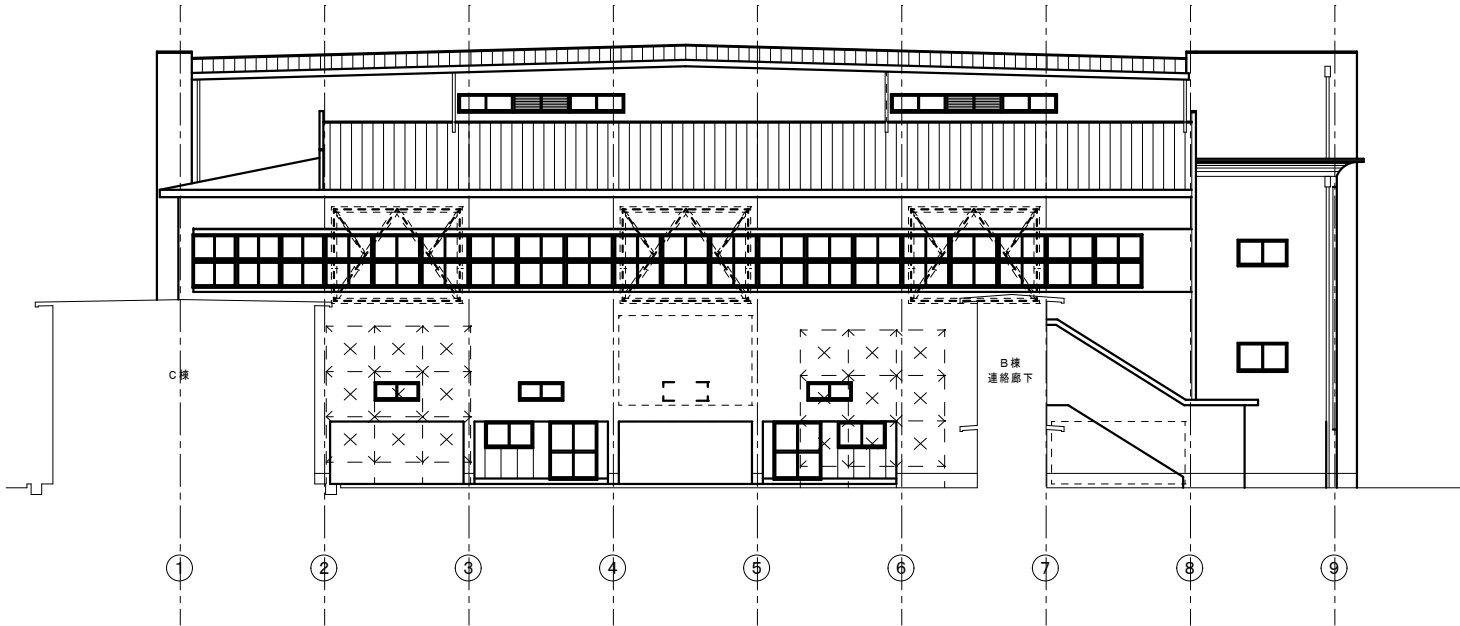




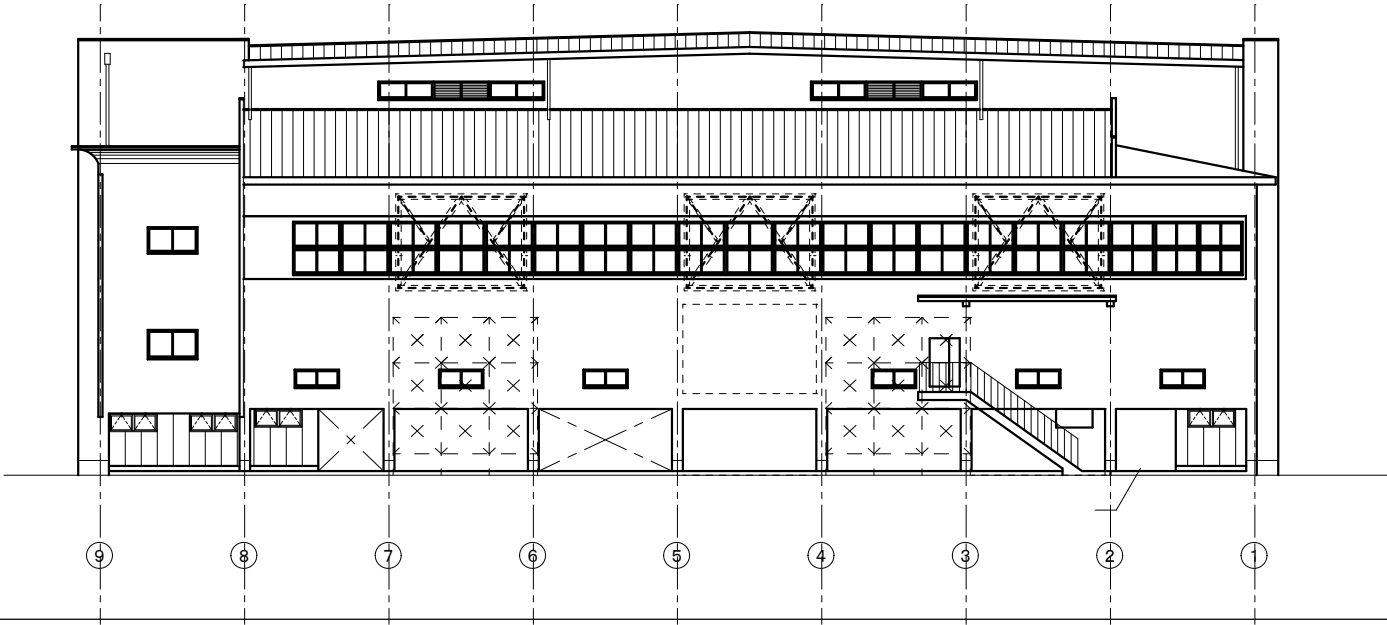




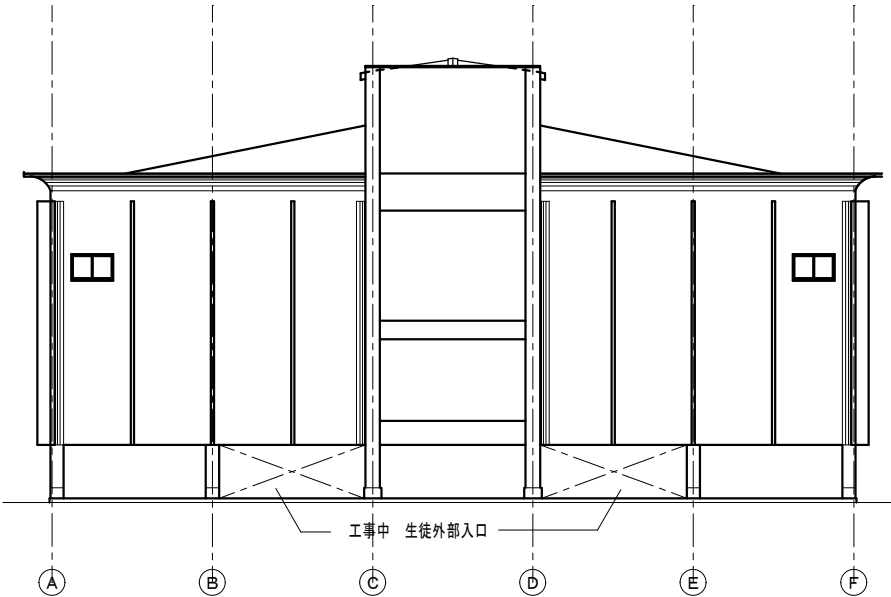
西側立面圖



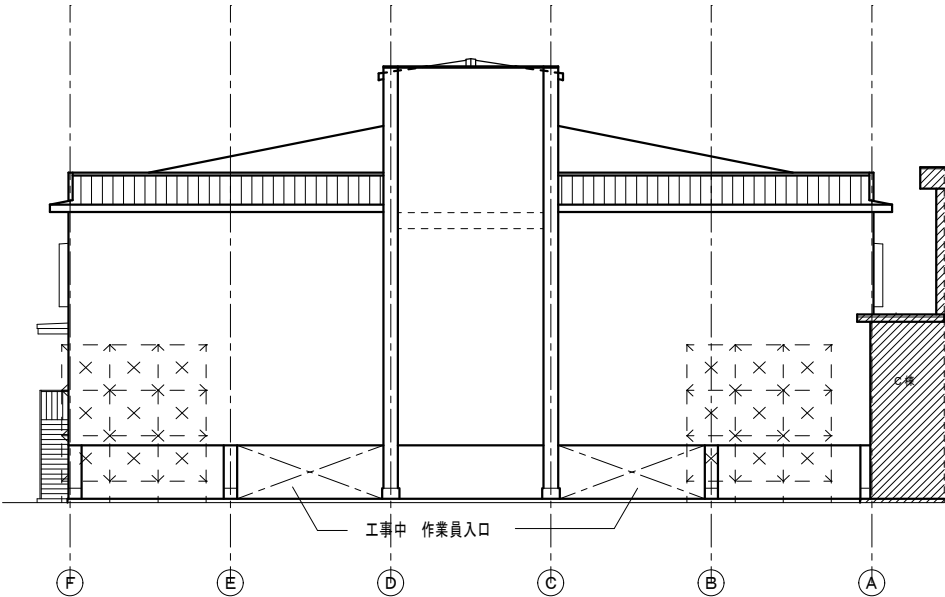
東側立面圖



南側立面図



北側立面図



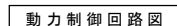
[illegible]

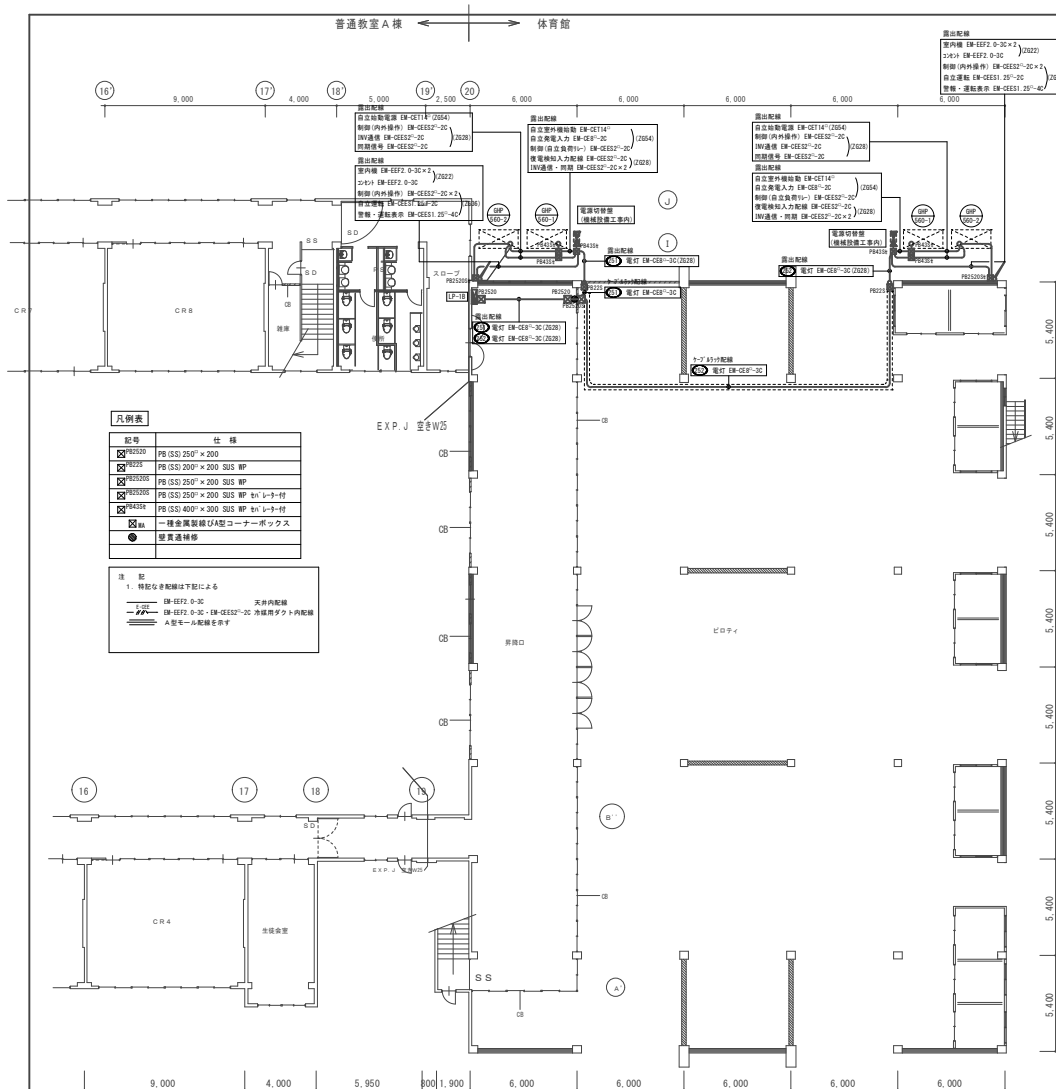
電灯分電盤結線図

既設幹線分岐盤

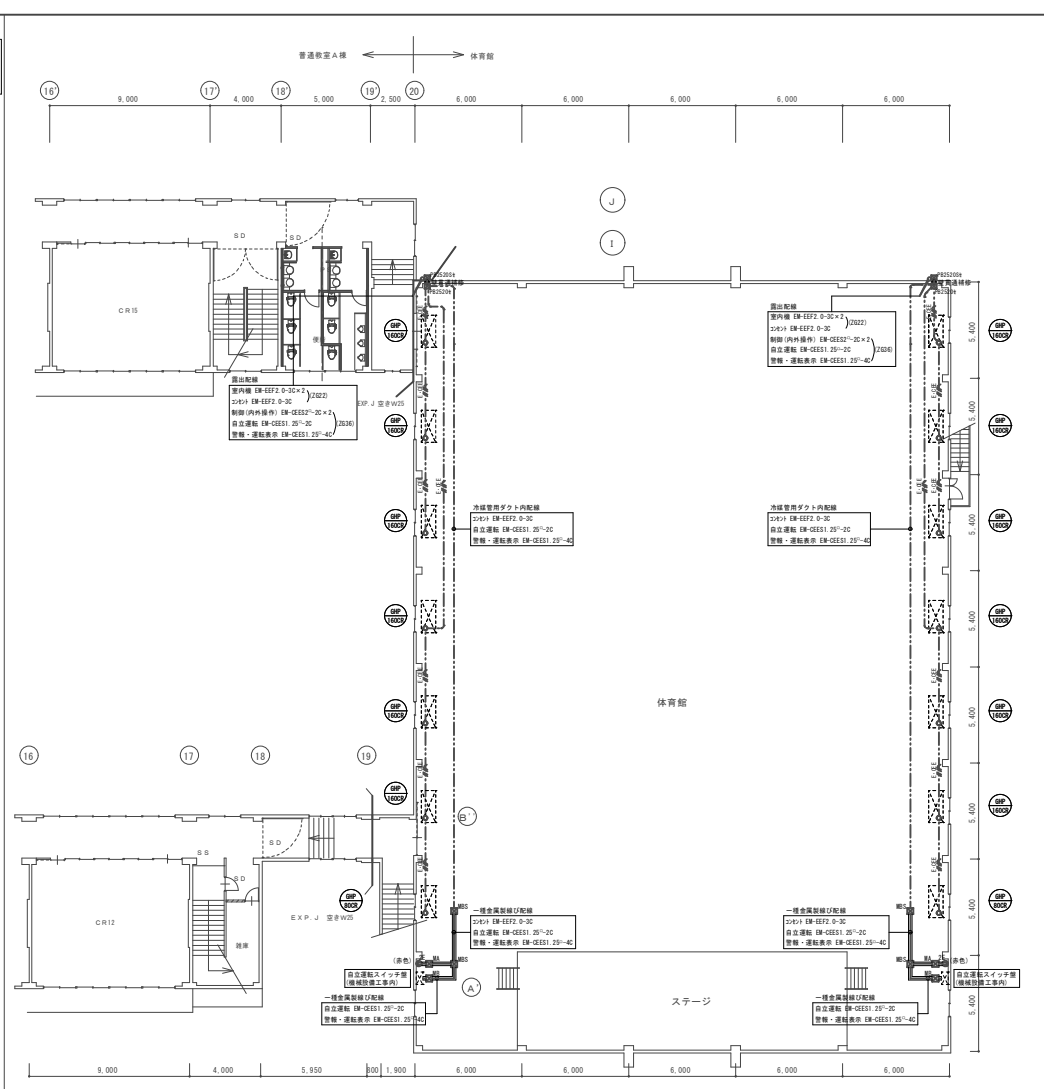
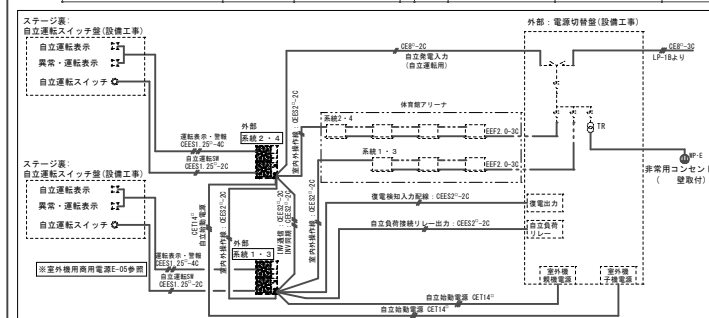
(注記1)
主幹の漏電・トリップ警報は盤表面扉にランプ・ブザーにて表示(テストボタン押印)

動力制御盤結線図

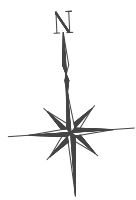


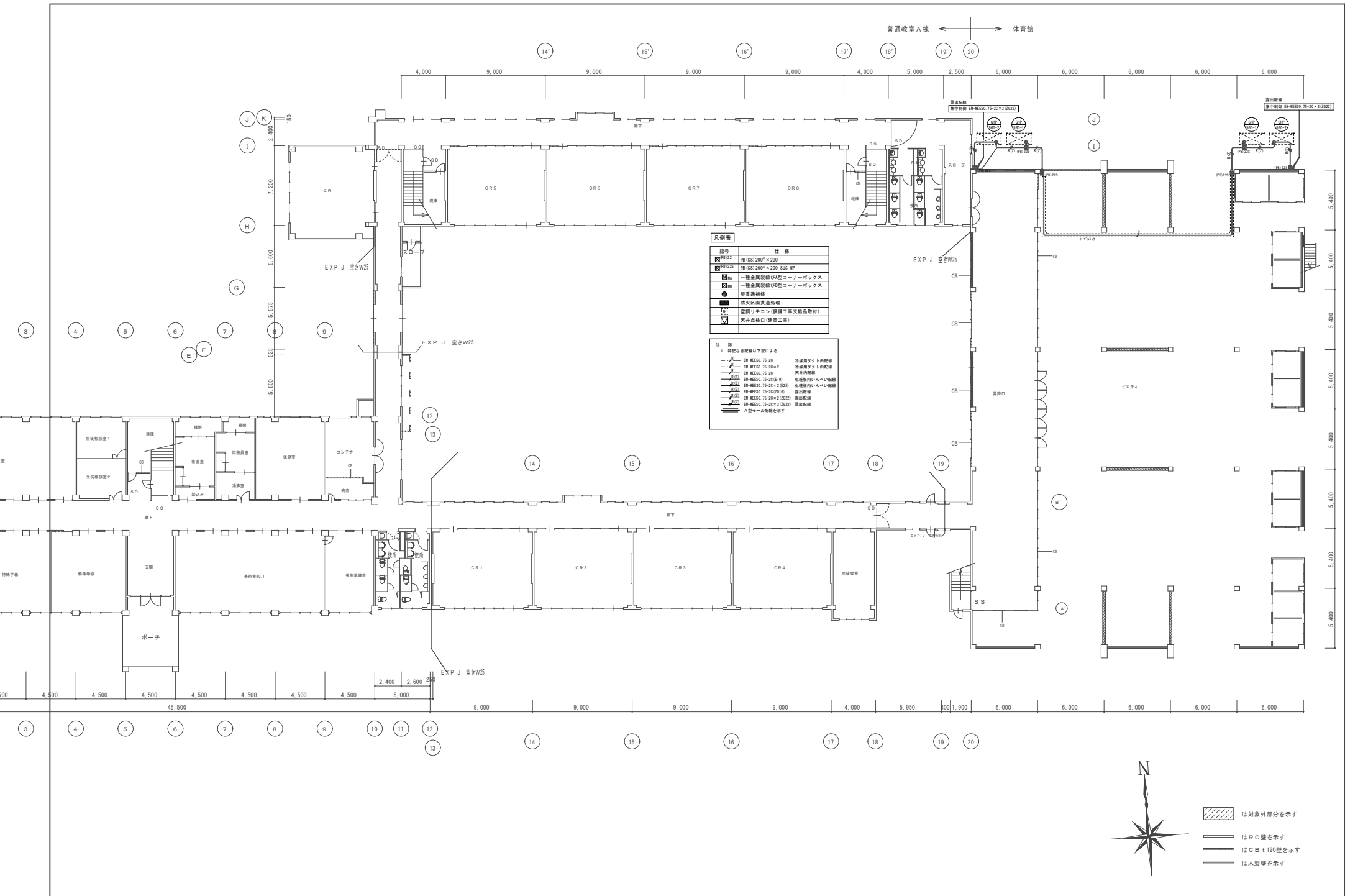


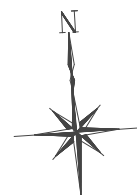
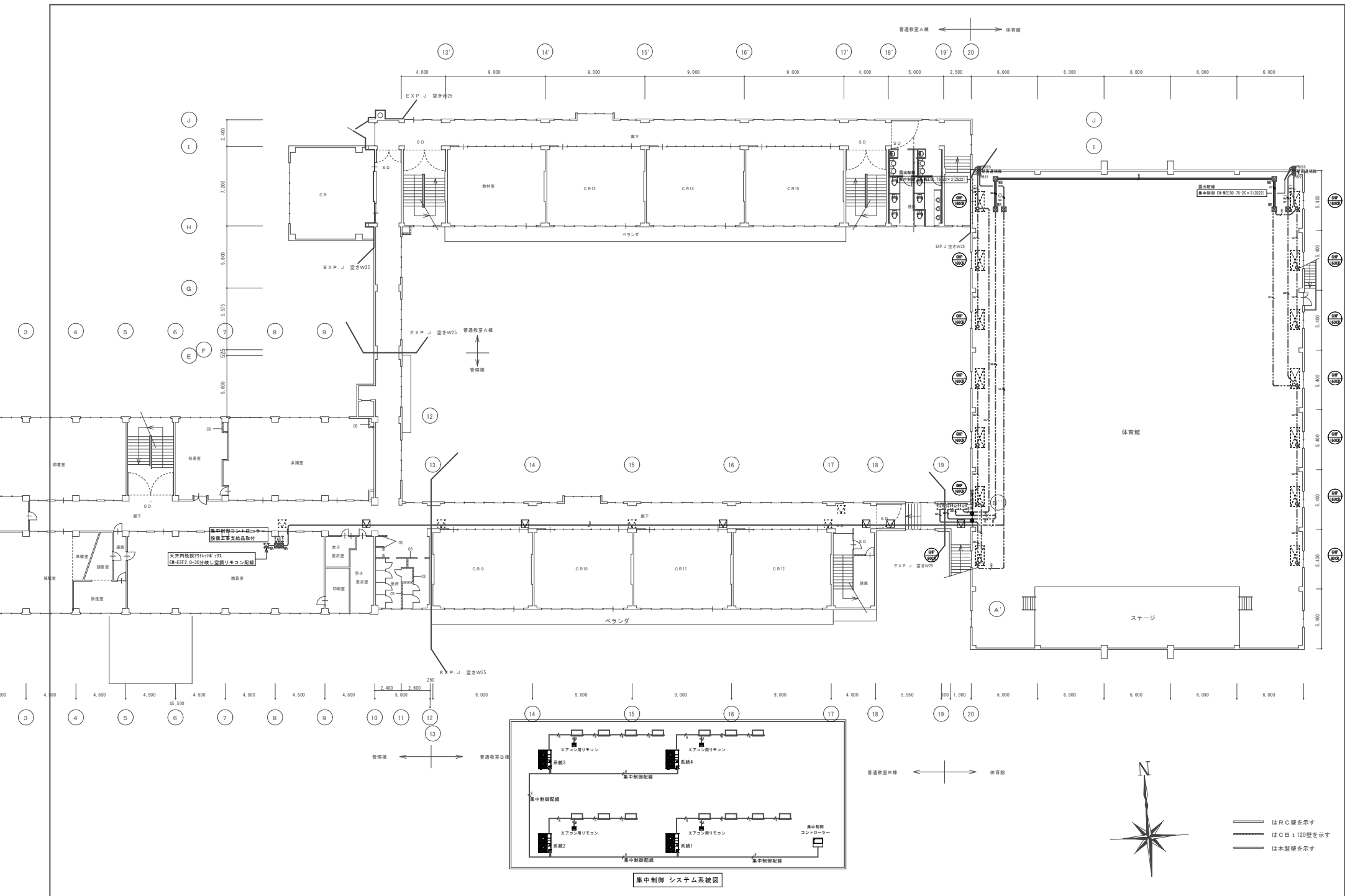
1 階平面図



2 階平面図







- は R C 壁を示す
- は C B t 120 壁を示す
- は木製壁を示す

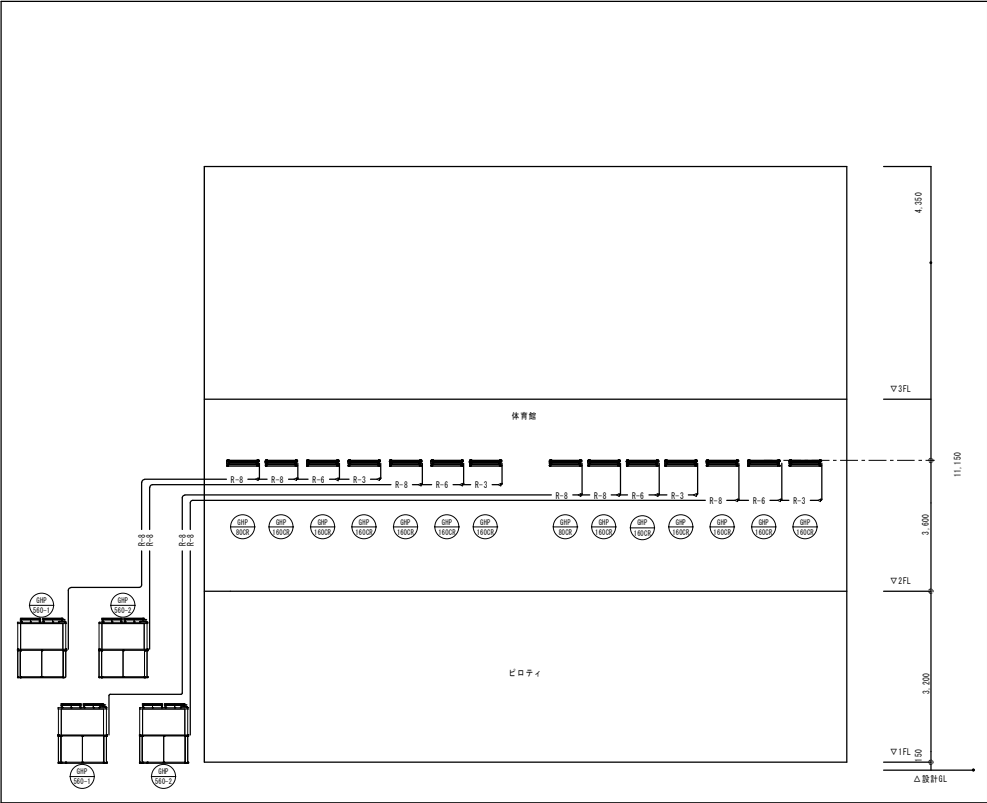
M-01

[illegible]

空調機器設備

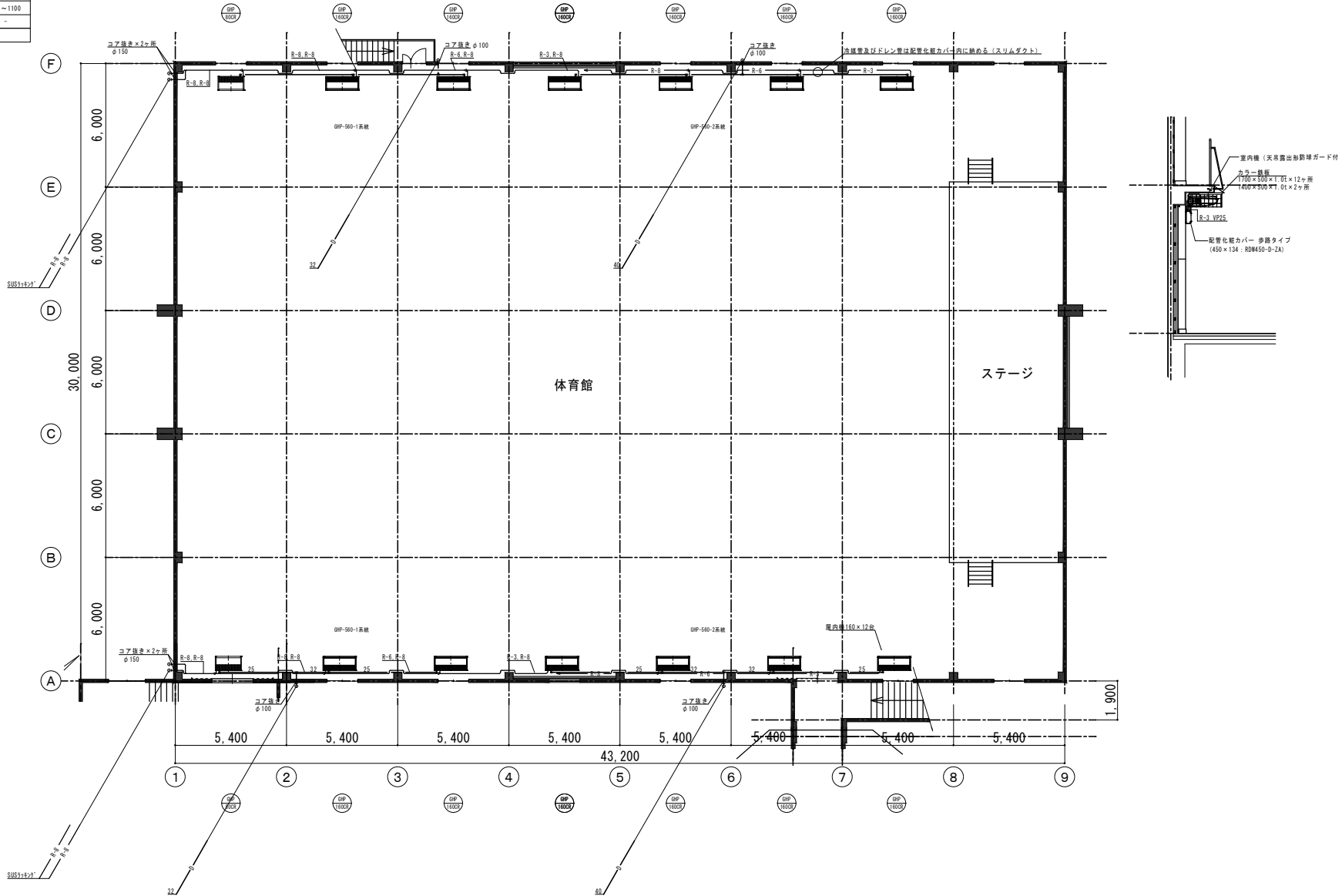
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	台数
	ガスヒートポンプマルチエアコン	停電対応型	
GHP-560-1	屋外機(親機) 塩害仕様	冷房能力56.0kW 暖房能力63.0kW 消費電力1.33/1.19kW 3φ200V 冷媒ガスR410A (U-GB560U1DE)	2
		使用燃料 プロパンガス 燃料消費量 46.1/42.7kW ABC10型消火器 消火器用SUS製BOX	
		電源切替盤 自立運転スイッチ	
		発電出力 停電時最大接続参考容量 (3.0kVA) 1φ200V	
GHP-560-2	屋外機(子機) 塩害仕様	冷房能力56.0kW 暖房能力63.0kW 消費電力1.33/1.19kW 3φ200V 冷媒ガスR410A (U-GX560U1DE)	2
		使用燃料 プロパンガス 燃料消費量 46.1/42.7kW ABC10型消火器 消火器用SUS製BOX	
		発電出力 停電時最大接続容量 3.0kVA 1φ200V	
GHP-80-CR	屋内機	天吊露出形 冷房能力 8.0kW 暖房能力 9.0kW 消費電力 0.06/0.06kW 1φ200V	2
GHP-160-CR	屋内機	天吊露出形 冷房能力 16.0kW 暖房能力 18.0kW 消費電力 0.16/0.16kW 1φ200V	12
共通特記事項			
屋外機	ステンレス製防雪フード(吐出) 付属とする。		
	屋外機基礎は建築工事		
	GHP屋外機置場には粉末消火器ABC10号(SUS製格納箱)を設置すること		
屋内機	屋内機は手元リモコン・ドレンアップ・防球ガード付		
	職員室にて集中管理を行う(液晶タッチパネル型(参考:CZ-10ESM5)運転/停止 運転モード 温度設定 風量・風向調整 個別制御等) AC100V		
	個別リモコン及び集中コントローラー、自立運転スイッチは電気工事へ支給とし個別リモコン、自立運転スイッチには鍵付きリモコンボックス付とする		
その他	屋内外渡り配管は冷媒管と共巻とし設備工事とする。		
	1次側屋内外機電源供給は電気工事とする。		
	特記無き屋外露出部の冷媒配管はステンレス鋼板ラッキング(内部はポリスチレンフォーム保温筒で保護)仕上する(アリーナ内露出部は図示による)		
	高調波抑制対策…換算係数Ki=1.8を超過する機器については高調波抑制対策を講じること		
	GHPの能力及び消費電力はJIS B 8627の規定された定格条件による。		
	ドレン配管は冷媒配管と同様に配管化粧カバー内に収める。屋外露出部のドレン管は、配管用炭素鋼鋼管(白)とする		

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	台数
BT-980	LPG供給設備	縦バルク貯槽 容量980kg	1
		圧力調整器、過充填防止装置、均圧弁、液面計、安全弁、ガス放出防止器又は緊急遮断弁、ガス漏れ検知器	
		ガス検収納ボックス(二口ヒューズコック×3、ONOFFヒューズ×可とう管コック15A×2)、	
		アルミ製蓄圧式粉末消火器 10型×1本 SUS製格納箱×1個、警戒標識 その他付属品一式	
		注記:コンクリート基礎及びフェンス は建築工事、ガス計量器は別途ガス納入業者からの貸与品とする。	



冷暖配管サイズ表 (参考)				
記号	ガス管	湯 管	屋内機	屋内機計
R-0	9.5φ	6.4φ	ACR-22	
R-1	12.7φ	6.4φ	22~56	EHP
R-2	12.7φ	9.5φ	22~56	GHP
R-3	15.9φ	9.5φ	71~160	~160
R-4	19.1φ	9.5φ	22.4	-
R-5	22.2φ	9.5φ	28.0	161~280
R-6	25.4φ	12.7φ	-	281~355
R-7	28.6φ	12.7φ	-	356~450
R-8	28.6φ	15.9φ	-	451~710
R-9	31.8φ	19.1φ	-	731~1100
R-10	38.1φ	22.2φ	-	-

断火キャップ (区画貫通経路)





	LPガス設備	シンガロ-リー
第一種保安距離	1. 5 m	1. 5 m
第二種保安距離	1. 0 m	1. 0 m
火気制限距離	2. 0 m	2. 0 m
引火性・発火性物質	2. 0 m	2. 0 m

1、第一種保安物件 学校、病院、不特定多数の出入りする施設等
2、第二種保安物件 一般民家
3、火気取扱施設 ストープ、ボイラー及び
非防爆型の電気設備、自動車駐車場
4、第二種保安距離は、自社敷地内及び公道、河川
にて確保する必要有り。

基礎工事（建築工事）	
本体基礎	: 2,900×2,500×H250 機器類総重量 約2,500kg
鉄 筋	: D13E200(上下端テヨコ共)
捨てコン	: 50H
砕石敷き圧	: 150H
仕上げ面	: 仕上げG.L.+200
フェンス等 : BULZAMフェンス H=2,210 4面 (本工事)	